

平成17年10月28日

各位

会社名 アイホン株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
市川周作  
コード番号 6718  
上場取引所 東証・名証第一部  
問合せ先 総務部長  
大津勝宏  
TEL 052-682-6191

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月16日の決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の中間期に関する業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 平成18年3月期連結中間業績予想の修正(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,320	1,280	740
今回修正予想(B)	16,966	1,136	603
増減額(B-A)	354	144	137
増減率	2.0	11.3	18.5
(ご参考) 前期実績(平成16年9月中間期)	16,987	1,278	771

(単位:百万円)

##### (2) 平成18年3月期中間業績予想の修正(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,466	1,060	620
今回修正予想(B)	15,754	813	373
増減額(B-A)	712	247	247
増減率	4.3	23.3	39.8
(ご参考) 前期実績(平成16年9月中間期)	15,442	1,103	677

(単位:百万円)

## 2. 修正の理由

当中間期におきましては、海外における販売は堅調に推移いたしましたが、国内においてカラーテレビドアホンの市場競争の激化が予想以上に厳しく、新商品の市場浸透が遅れたため、売上を予定通り伸ばすことができませんでした。

また、利益面におきましては、上記の影響に加え海外生産により原価を改善した商品の市場投入が遅れたため経常利益、当期純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

しかしながら、当社の場合は例年上期の業績のウェイトが低い傾向にあるため、通期の業績に関しましては、下期において海外生産により原価を改善した商品と新商品の販売に全力を挙げ市場拡大を図るとともに、一層の原価低減と経費削減に努めることにより、ほぼ当初の予想を達成できる見込みであります。

(参考)

(1) 平成18年3月期連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	38,500	4,300	2,770

(単位:百万円)

(2) 平成18年3月期業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	36,800	3,620	2,280

(単位:百万円)

通期予想につきましては、修正しておりません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上